

# 【学級活動・中1・「協調力を高め、安心して生活できるクラスにしよう」①

## 育成を目指す資質・能力

「第2回学級力アンケート」の結果から見つかったクラスの課題について、「プロジェクトカード」を活用し、友達の意見を大切にしながら話合う活動を通して、自分たちでクラスをよりよくしようとする意欲・態度を育てる。

## ICT活用のポイント

- ・学習支援ソフトを使うことで、全員参加の話合いを実現させ、効率的に意見を共有する。
- ・アンケート集計ソフトを活用することで、課題と振り返りを即時に共有する。

アンケート結果を共有し、クラスの課題をつかみ主体的に話合いができるようにする。

個人の意見を班で学習支援ソフトを使い端末上で共有し、班の意見をまとめる。

班の意見を学習支援ソフトで全体で共有し、グルーピングしてクラスの取組を決定する。

アンケート集計ソフトを活用し、話合いの評価をする。

## 事例の概要

- つかむ場面  
アンケート結果を端末で共有し、話合いの目的を明確にする。
- 出し合う場面  
個人の意見を学習支援ソフトを使い共有し、出された意見を基に班の意見を端末上でまとめる。
- 比べ合う場面  
学習支援ソフトを使い、班の意見を全体で共有し、グルーピングを行う。
- まとめる場面  
司会グループが黒板で、出された意見の中からキーワードを確認したり、生徒の意見を聞いたりしながら、全体の意見をまとめる。
- 振り返り  
アンケート集計ソフトを使い、話合いの感想を即時に共有する。

# 【学級活動・中1・「協調力を高め、安心して生活できるクラスにしよう」②】

議題：クラスの協調力をさらに高めるにはどうしたらよieldろうか

## 【事例におけるICT活用の場面①】

- ・アンケート集計ソフトを活用し、議題を共有する(必要感のある議題の設定)。
- ★提案理由:「学級力アンケート」でもっとも高い結果である協調力をさらに伸ばしていきたい。

## 【事例におけるICT活用の場面②】



- ・学習支援ソフトを活用し、互いの意見を共有する。端末を使った意見の共有により、スムーズに話し合いを進行できる。
- ・自分の意見を投稿できる場所を個人から班、班から全体と2段階にすることで子供たちが合意形成する思考の流れが明確になっている。
- ★個人の意見:相手の考えや言動を尊重する。

## 【事例におけるICT活用の場面③】



- ・個人→班→全体と学習支援ソフトを使って意見を共有し、グルーピングする。
- ★2班の意見:相手のことを尊重し、心を一つに行動しよう。
- ・班の意見発表後の合意形成については、司会者が進行し、挙手発表形式で意見をまとめていく。ICTとコミュニケーションのバランスを大切にする。
- ★決まったこと:相手の言動や行動を尊重し、心を一つに協力して支え合おう。

## 【事例におけるICT活用の場面④】

- ・アンケート集計ソフトを活用し、本時の話し合いの振り返りを共有する。
- ★各班の意見をまとめるときに、自分の考えを発表することができた。

○活用したソフトや機能 ・アンケート集計ソフト・学習支援ソフト (データ提出・受信・一覧表示)